

令和 2 年度決算に係る

定期監査
資料
決算審査

令和 3 年 7 月

危機管理局 危機対策・情報課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	
(2)	監査意見	
(3)	決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	4 頁
7	事業別実施状況調べ	5 頁
8	予備費の充用調べ	7 頁
9	繰越関係調べ	7 頁
(1)	継続費逐次繰越調べ	
(2)	繰越明許費調べ	
(3)	事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	8 頁
11	現金の取扱状況	8 頁
(1)	現金取扱状況	
(2)	つり銭の状況	
12	財産に関する調べ	9 頁
(1)	公有財産	
(2)	金券類の保有状況	
(3)	基金	
(4)	債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	10 頁
(1)	土地及び建物	
(2)	物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	11 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	11 頁
(1)	管理状況	
(2)	減免の考え方	
(3)	使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	11 頁
17	備品の処分状況調べ	11 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11 頁
(1)	亡失、損傷の報告状況	
(2)	物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	11 頁
(1)	総括表	
(2)	償還状況	
○	意見、要望等	12 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項
該当なし
- (2) 監査意見
該当なし
- (3) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定員	9	9	3	3	0	0	12	12	
現員	(2) 10	(2) 10	3	3	0	0	(2) 13	(2) 13	岡山県へ派遣1名、 岡山県から派遣1名
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	5	5	1	1	0	0	6	6	防災連絡員4、災害情報 センター1、電気技師1

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
危機管理局 危機管理専門官	(兼) 島瀬 達也	年 5	月 3	新型コロナウイルス感染症 対策本部事務局 参事
危機対策・情報課長	(兼) 福田 隆	0	3	同上
危機管理情報官	(兼) 都田 和彦	0	3	同上
課長補佐	木山 正一	1	3	
課長補佐	井上 将	0	3	
課長補佐	西山 孝志	1	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
防災行政無線一斉指令システム等更新事業	475,621		475,000		621
将来ビジョン	Ⅲ【守る】鳥取県の豊かな恵み・生活を守り、次代へつなぐ				
令和新时代創生戦略	-				
政策項目	-				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
衛星系防災行政無線の導入に併せて平成18年度に運用開始した一斉指令システム、無線用電話交換機等の機器について、耐用年数を経過して故障時の修理において部品調達が困難な状況となっているため更新整備を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
防災行政無線のうち一斉指令システムは、気象情報をはじめとした各種防災情報を市町村等に一斉に情報伝達する重要なシステムであるが、当該システムを構成する機器のメーカーサポートが終了し、故障発生時の修理に時間を要したり、最悪の場合は使用不能となるおそれがあること、また、他の電話交換機等のシステムも同様の状況にあることから、システムの更新を行った。(令和元～2年度、継続費)					
併せて、上記システム更新に伴う既存ネットワーク機器の改修、基幹スイッチの更新を行った。(令和2年度)					
【防災行政無線一斉指令システム等更新事業執行状況】 (単位：千円)					
	令和元年度	令和2年度	計		
防災行政無線一斉指令システム等更新工事 (一斉指令システム、無線用電話交換機等更新)	283,620	426,341	709,961		
防災行政無線ネットワーク機器等更新業務 (ネットワーク機器改修、基幹スイッチ更新)	0	49,280	49,280		
計	283,620	475,621	759,241		
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
工事等の発注に当たり、次のとおり保守メンテナンスの容易さ、使い勝手の向上を図るとともに、トータルコストの削減につながるよう考慮した。					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器故障時に迅速・確実に対応できるよう、可能な限り汎用機器を採用 ・ 市町村等の災害対策室設置を考慮し、一斉受令機能を移設できるよう設計 ・ 不要な機能を省き、シンプルなネットワーク構成とすることにより、整備コストを削減 					
ウ 成果及び効果					
システム更新により、次のとおり防災情報の伝達・共有手段の高度化・多様化等を実現することができた。					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2系統(衛星系、地上系)での映像伝送が可能となった(従来は1系統) ・ メール、ファイル共有機能により、県庁～市町村間で双方向の情報共有が可能となった ・ 市町村、消防局等において5回線での同時通話が可能となった(従来は2回線) ・ 西部総合事務所に無線用電話交換機のバックアップ装置を設置し、県庁舎被災時の無線通話回線を確保した 					
エ 課題					
第2期整備として、防災行政無線の衛星系通信機器の更新工事を令和4～5年度に予定しており、令和3年度に実施設計を行うこととしている。					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
危機管理情報運用事業	25,921	1,846			24,075
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 災害時等において県民に防災・危機管理等の情報を的確に提供するため、「あんしんトリピーメール」や「あんしんトリピーなび（防災アプリ）」を運用し、迅速かつ効率的な情報発信を行うことで、災害等による被害の軽減を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○あんしんトリピーメール 県、市町村等が、防災・危機管理情報や避難情報、道路情報、公共交通情報、防犯情報などの情報を利用者に対してメールで一斉配信するシステムを運用し、県民への迅速な情報提供を行った。</p> <p>【トリピーメールの特長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の携帯電話、スマートフォン等に安全安心情報をリアルタイムに直接配信 ・情報の緊急度を一目で判断できる背景色付きのメールを選択して受信可能 ・利用者のニーズに合わせて、受信する情報の種類や地域（市町村）を選択可能 <p>○あんしんトリピーなび（防災アプリ） スマートフォン、タブレット利用者をターゲットに、様々な危機管理情報をコンパクトにまとめた防災アプリを運用し、県民に必要な情報を分かりやすく提供した。</p> <p>【トリピーなびの特長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリならではのプッシュ通知により、トリピーメール情報等の最新情報をお知らせ ・最寄りの指定避難所等への自動経路案内、防災ライブカメラ（道路・河川）の閲覧が可能 ・外国語9言語（英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ロシア語、ベトナム語、フィリピン語、インドネシア語、タイ語）に対応（令和2年3月から） <p>イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリピーメールで配信する情報に係る変更等が発生した場合は、最新の情報内容となるようシステム改修等を行った。（水防警報発令対象となる河川名称の変更など） ・トリピーメール、トリピーなびの利用者数を増やすため、広報課の事業を介し、ツイッター、LINE等のSNS広告、新聞広告、テレビCM等を利用して幅広くPRを行った。 ・鳥取県国際交流財団が開催する外国人対象の日本語講座に赴き、参加外国人にトリピーなびの紹介及び操作説明を行い、外国人への普及を図った。（東部1回、西部1回。計44名対象） <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリピーメールの配信登録者数、トリピーなびのインストール件数は、令和2年度末現在で、それぞれ約3万5千件、約1万9千件となっており、利用者数を増加させることができた。 【トリピーメール配信登録者数】R2.3.31時点34,903件 ⇒ R3.3.31時点35,297件（+394件） 【トリピーなびインストール数】R2.3.31時点9,139件 ⇒ R3.3.31時点19,166件（+10,027件） ・端末のOS言語を外国語に設定しているトリピーなび利用者数は約90件となっており、外国人にも徐々に普及してきていると考えられる。 【外国語設定件数】R3.3.19時点89件（英語46、中国語18、韓国語7、ベトナム語15等） <p>エ 課題</p> <p>引き続き県の広報媒体等を積極的に活用し、利用者数の増加を図っていく。また、気象庁などが発信する新たな防災情報に適切に対応していく（熱中症警戒アラート、顕著な大雨に関する情報など）。</p>					

6 決算資料
一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算現額			調定額 A	収入済額 B	不納 欠損額 C	収入 未済額 A-B-C	備考	
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充 計						
歳入	総務費国 庫負担金	0	0	0	0	927,627	927,627	0	0	
	総務費国 庫補助金	2,802,000	0	0	2,802,000	1,845,570	1,845,570	0	0	
	総務費委 託金	90,000	1,022,000	0	1,112,000	184,000	184,000	0	0	
	繰越金	(0)	(0)	(809,000)	(809,000)	(809,000)	(809,000)	(0)	(0)	
		0	0	809,000	809,000	809,000	809,000	0	0	
	雑入	24,341,000	△ 2,671,000	0	21,670,000	21,680,404	21,680,404	0	0	
	総務債	(0)	(0)	(46,000,000)	(46,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	597,000,000	△ 85,000,000	46,000,000	558,000,000	509,000,000	509,000,000	0	0		
合計	(0)	(0)	(46,809,000)	(46,809,000)	(809,000)	(809,000)	(0)	(0)		
	624,233,000	△ 86,649,000	46,809,000	584,393,000	534,446,601	534,446,601	0	0		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算現額				支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年 度繰越 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減 計 A		本庁	出納 機関			
歳出	一般管理 費	0	0	0	95,520	95,520	95,520	0	0	0	
	防災総務 費	(0)	(0)	(46,809,000)	(0)	(46,809,000)	(0)	(0)	(0)	(46,809,000)	
		793,380,000	△ 101,346,000	46,809,000	△ 988,359	737,854,641	681,212,831	681,212,831	0	0	56,641,810
合計	(0)	(0)	(46,809,000)	(0)	(46,809,000)	(0)	(0)	(0)	(46,809,000)		
	793,380,000	△ 101,346,000	46,809,000	△ 892,839	737,950,161	681,308,351	681,308,351	0	0	56,641,810	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年 度繰 越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、不用額の理 由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計A					
(一般管理費)	(0)	(0)	(0)	(95,520)	(95,520)	(95,520)	(0)	(0)	(100%)	・赴任旅費の配当
目 計	(0)	(0)	(0)	(95,520)	(95,520)	(95,520)	(0)	(0)	(100%)	
(防災総務費)										
危機管 理・国民 保護対策 事業	2,851,000	△ 495,000	0	1,800,000	4,156,000	4,066,073	0	89,927	98%	・手話通訳経費とし て、防災力向上事 業から1,800千円流 用
防災力向 上事業	5,519,000	△ 2,413,000	0	△ 1,800,000	1,306,000	1,306,000	0	0	100%	・危機管理・国民保 護対策事業に1,800 千円流用
(主) 危 機管理情 報運用事 業	22,585,000	0	0	4,642,000	27,227,000	25,920,904	0	1,306,096	95%	・主な事業に関す る調べのとおり ・楽天モバイル対応 経費として、危機 管理情報システム 管理運営事業から 4,642千円流用
(主) 防 災行政無 線一斉指 令システ ム等更新 事業	(0)	(0)	(46,809,000)	(0)	(46,809,000)	(0)	(0)	(46,809,000)	(0%)	・入札結果により 不用額が発生。 ・主な事業に関す る調べのとおり
	551,804,000	△ 73,616,000	46,809,000	0	524,997,000	475,620,900	0	49,376,100	91%	

5

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年 度繰 越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・ 成果、不用額の理 由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計A					
危機管理 情報シス テム管理 運営事業	169,436,000	△ 14,783,000	0	△ 5,630,359	149,022,641	144,015,954	0	5,006,687	97%	・危機管理政策課の 広域支援体制整備 総合事業(職員の PCR検査経費)に 988,359円所管換配 当 ・危機管理情報運 用事業に4,642千円 流用
災害情報 等共有基 盤形成事 業	11,440,000	0	0	0	11,440,000	11,440,000	0	0	100%	
防災行政 無線非常 用電源設 備改修事 業	29,745,000	△ 10,039,000	0	0	19,706,000	18,843,000	0	863,000	96%	
目 計	(0) 793,380,000	(0) △ 101,346,000	(46,809,000) 46,809,000	(0) △ 988,359	(46,809,000) 737,854,641	(0) 681,212,831	(0) 0	(46,809,000) 56,641,810	(0%) 92%	
合 計	(0) 793,380,000	(0) △ 101,346,000	(46,809,000) 46,809,000	(0) △ 988,359	(46,809,000) 737,854,641	(0) 681,212,831	(0) 0	(46,809,000) 56,641,810	(0%) 92%	

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ

科目	事業名	継続費の総額	本年度継続費予算現額			支出済額	残額	翌年度逐次繰越額	繰越金	左の財源内訳		
			予算計上額	前年度逐次繰越額	計					特定財源		
										国庫支出金	地方債	その他
防災総務費	防災行政無線一斉指令システム等更新事業	882,233,000	46,809,000	0	46,809,000	0	46,809,000	0	0	0	0	0
合計		882,233,000	46,809,000	0	46,809,000	0	46,809,000	0	0	0	0	0

(2) 繰越明許費調べ
該当なし

(3) 事故繰越調べ
該当なし

7

10 収入証紙取扱調べ
有 ・ 無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

該当なし

(2) つり銭の状況

該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	(内訳)		1,631.61	不明	増加	R				R	1,631.61	不明	
					減少	R				R			
計			1,631.61	0			0	0			1,631.61	0	
普通財産	(内訳)		0	0	増加	R				R	0	0	
					減少	R				R			
計			0	0			0	0			0	0	
合計			1,631.61	0			0	0			1,631.61	0	

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	(内訳)		451.79	不明	増加	R				R	451.79	不明	
					減少	R				R			
計			451.79	0			0	0			451.79	0	
普通財産	(内訳)		0	0	増加	R				R	0	0	
					減少	R				R			
計			0	0			0	0			0	0	
合計			451.79	0			0	0			451.79	0	

ウ 山林

該当なし

- エ 不動産売却等
該当なし
- オ 財産の交換
該当なし
- カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし
- キ 物権
該当なし
- ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし
- ケ 有価証券
該当なし
- コ 出資による権利
該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
26 枚	0 枚	0枚 0円	26 枚

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）

該当なし

1.4 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量 又は 面積	契約の状況				借受先 住所名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
土地	山林	防災行政無線通信施設 (霊石山)	鳥取市河原町 片山字林立901	174.83	有	H30.4.1 ~R3.3.31	月額・年額 10,000	10,000	鳥取市河原町徳吉 徳吉部落区長	
土地	山林	防災行政無線通信施設 (孝霊山)	西伯郡大山町 長田字王平1052-63	424.17	有	H24.4.1 ~R4.3.31	月額・年額 99,000	99,000	西伯郡大山町妻木582-1 高麗生産森林組合	
土地	山林	防災行政無線通信施設 (向山)	倉吉市巖城 字寺山1535-4	584	有	R2.4.1 ~R3.3.31	月額・年額 25,000	25,000	倉吉市巖城956 宗教法人山名寺	
建物	無線中継所	防災行政無線通信施設 (城山)	日野郡江府町 御机字城山873	59.56	有	R2.4.1 ~R3.3.31	月額・年額 22,000	22,000	日野郡江府町江尾475 江府町長	
合計				1,242.56				155,600		

1.5 職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

1.6 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

1.7 備品の処分状況調べ
該当なし

1.8 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

1.9 貸付金等状況調べ
該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし